



11月号

2016年11月発行

長岡京市
市民活動サポートセンター発行
バンビオ1番館1階
075-963-5505 fax:075-963-5523

お祭り2016「竹あそび」をサポセン事務局員が取材させて頂きました。

「竹でつなぐ・つながる・まちづくり」長岡京竹あそび 2016「みんなであそぼう このゆびと~まれ」を取材させていただきました。NHKの天気予報とは全く異なる天気で、当日は天候になんとか恵まれて会場は飲食・あそび・ステージ・物販・その他とそれぞれ趣向をこらした数々の出店や催しもので多くの人が、お祭り「竹あそび」の楽しい時間を過ごされていました。

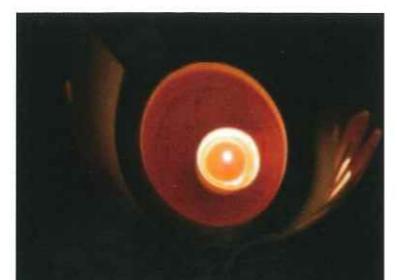


長岡京竹あそびとは「長岡京竹あそび連絡協議会」さんが主催し、サポートセンターの多くの登録団体さんが協力している長岡京市のお祭りで、中核に市内の放置竹林整備団体、社会福祉・子育て支援等のボランティア団体、企業・商店と長岡京市との協働による市民参加型のあそびと竹灯りを楽しむ秋のイベントです。

また、京都府の森の京都博のイベントで10月は京の竹に触れる楽しむ最初のイベントとして紹介されています。

サポセンでお顔を拝見する多くの方々が、多数参加されていて大いにイベントを盛り上げていました。

私は、というと各店におじやまさせていただき、雑話に花を咲かせたり、焼きそば・インドカレーとナン・たこ焼き・フランクフルト・スマートチーズ等の食べ物、アクセサリーやかわいい小物などなどを見て回ったり、小物を買ったり、美味しいものを食べたりして、取材を忘れるくらい満喫していました。



広いグランドでは竹リンピックと題して竹にまつわるあそび、竹工作、鳴子踊り、紙芝居、手品等各種パフォーマンスがおこなわれ、また飲食ブースは多くの方が、昼・夜と各店の味自慢を堪能されていました。

そして、中小路市長の点灯式から、夜には竹灯りツアーガ開催され立命館大学の学生さんが

ガイドとして親子で色々な趣向を凝らした竹あかりの幽玄な世界を楽しんでいました。

あっと言う間の一日で、食べて、遊んで、竹あかりを見て、多くの方々と語りあい、笑顔が溢れたひとときを過ごされているのを見て、これからもずっとこのイベントが続くようにと願わざるを得ませんでした。

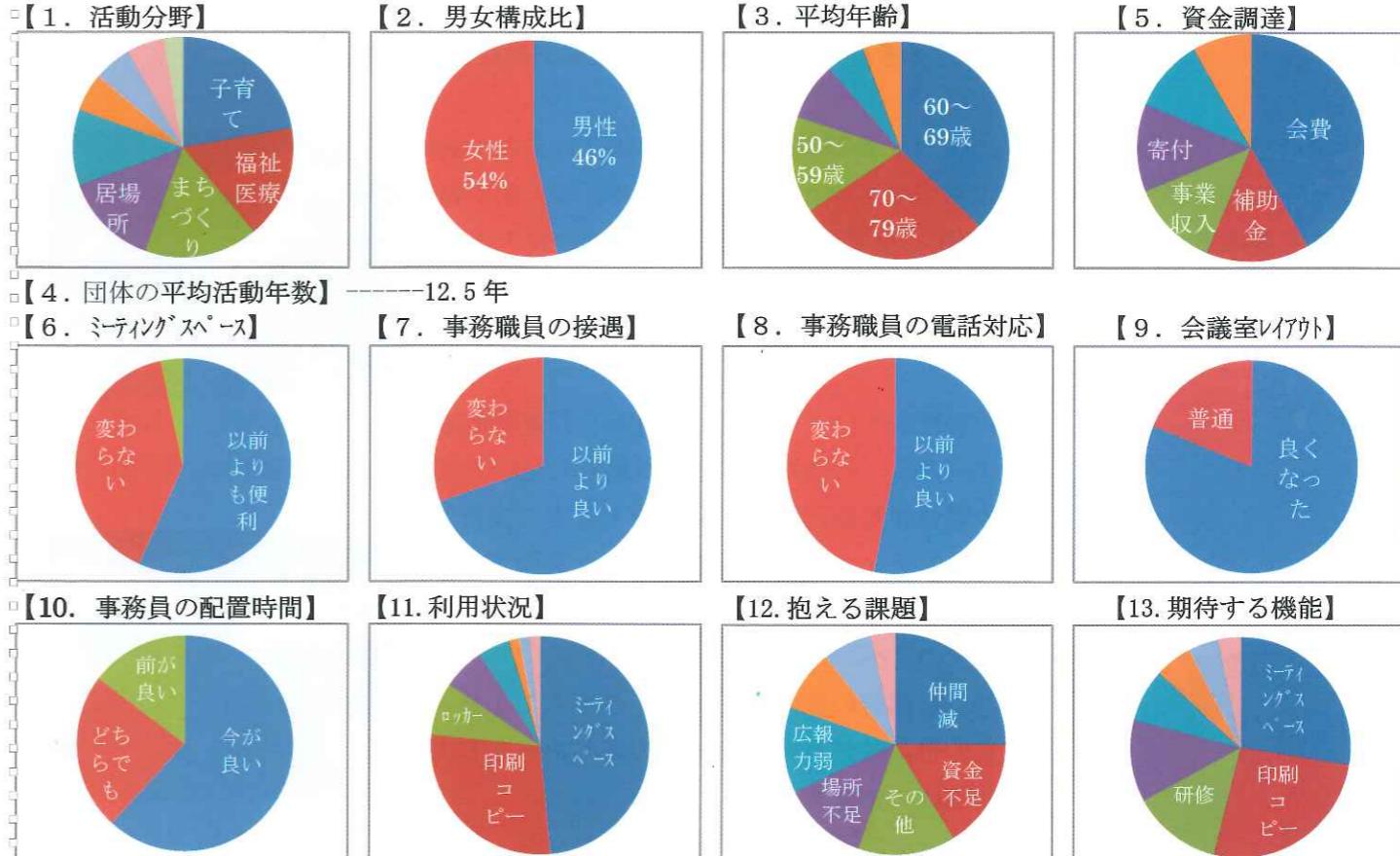
わが愛する竹のまち長岡京！！

来年も長岡京竹あそびでお会いしましょうね！！

(加納)

市民活動サポートセンター6ヶ月の運営について、登録団体さんへのアンケート結果報告
長岡京市市民活動サポートセンターの運営を、長岡京市市民活動ネット・チーム長岡京が指定管理事業者として担当させていただいて早や半年が経過しました。この度、登録団体の皆様にご協力を頂きアンケート調査を実施しましたがその集計が出来ましたので、以下の通りご報告させて頂きます。(回答頂いた団体数 36)

=アンケートの結果報告=



14. ホームページについての意見

- 内容も豊富で見た目も楽しく見えています。市民広報ツールとして、どんどん団体の取材に来て紹介してください。
- 情報が伝わってくるので、色々参考になる。情報量も多く、日々更新されているようでgood!!

15. 「サポセン通信」の意見

- 毎月の発行、頑張って下さい。地域の方々の活動が見て興味深いです。毎月の情報があります。
- 詳細記載より、もっと文字減らしてもいいかなと思います。写真多様で。
- とてもきれいな紙面で他の団体さんの活動内容がよくわかり参考になります。
- 所属団体間の相互交流情報をもっと掲載して下さい。活動の横の関係が広がりよい関係が出来ている。
- 初めて見ましたが、すばらしい内容だと思いました。これからは家族会の皆さんにも情報発信して行きたい。

16. ネットワークを組んでやりたい事業

- 超高齢社会を迎えるに当たって各団体とネットワークとの連絡を密にしての活動を期待する。
- 地域の歴史的文芸文化の協働掘りおこし。音楽とものづくり、人と人とのつなげていきたい。
- 居場所／サロン／カフェのプラットホーム的活動。



17. その他の自由意見

- 年1回「市民活動フォーラム」を開催してはどうでしょうか。
- 駐車場も無料にしてほしい。駐輪場がバンビオ1番館にもほしい。
- 行政を動かす努力を是非共行って下さい。

=サポセン事務局からのお知らせ=

2016 サポセンフェスタは、63団体が参加で楽しいフェスタになります。結果は、12月号に発表します。